

業務の新聞

第24号

平成30年

5月30日

“会社の説明会?!”

5/17 に会社側から提案された「乗務員勤務制度の見直し」と「ワンマン運転について」各職場で“会社の説明会”が、1時間程度の予定で開催されています。

私が参加した時には、会社担当責任者(?)のDVDを見てから“ザっとした説明”が現場の管理者からなされ、質問はありませんか?という流れでした。(「ワンマン運転について」そして「乗務員勤務制度の見直し」の順でした)

皆さんの職場ではどのような感じでしたか?

「施策の会社説明会」は、ずいぶん久しぶりでした。参加しての率直な感想を述べれば「ペーパー以下でも以上でもない」って感じですかね。それに社員の具体的な質問や疑問に、具体的に答えることが出来ないのでは「いかなものか?」と思ってしまいます。説明会を企画・運営した“職場経営陣”には『双方向型の会議』『施策の職場からのビルドアップ・運用』などに配慮して、次回以降の企画・運営に活かしていただければと思います。

会社説明会で話された「お客様の望むサービスの提供」と「運転士・車掌の将来的廃止」はどの様に結びつくのか、まだまだよく分かりません。

職場に仲間たちがいる限り、現実的課題はなくなりません。労働組合はその使命において、組合員の雇用を守り、労働条件向上を図るために存在します。『会社説明会』での疑問や?そして皆さんの感想などお伝え下さい。施策の解明もこれからになります、『本線エルダー』との関係も出てきますのでよろしくお願ひします。

夏のボーナス!

夏季手当の第1回交渉が5/31に開催されます。

JR 東日本のはじき出す数字は、「史上最高」と言われています。経営幹部から発せられる文章などにも「社員の努力」に関する御礼が入っています。

その御礼を反映させた夏のボーナスであることを強く・強く望みます。

3.2カ月の満額回答そして55歳以上の社員への一律5万円の加算、グリーンスタッフへの5万円の加算実現に向けて、職場から大きな声を出して行きましょう!

申1号について

昨年9月27日に地本より東京支社に発した「申1号」について、支社から今日現在において、内容の問い合わせもありません、回答もありません。

申1号は昨年9月9日に開催した第5回地本大会の発言をもとに作成されました。言うならばこの1年間の私たちの歩みを表現するものに他なりません。

残念ながら、現段階、皆さんの声にこたえることが出来ていません。

地本として、申6号「申1号の回答を早急に行うこと」を3月22日に発しました。しかし事態に好転していません。

回答もしない、回答しない理由も明らかにしないままの支社経営側の姿勢を許すことは出来ませんが、これからも強く申1号の回答と回答に関する交渉実現に向けて支社関係者に要請していきます。もう少し時間をいただき、シッカリ・キッチリ支社と詰めさせて下さい。